

特集 4 緑内障の現状

緑内障は我が国における視覚障害の原因疾患として最も多い疾患で、患者数は465万人と推定されている。また、緑内障は年齢が高くなるほど有病率が上がり、40歳以上では人口の5%、70歳以上では10%が罹患していると報告されている。緑内障の診断・経過観察に関しては光干渉断層計（OCT）による網膜神経線維層厚測定、網膜内層厚測定の重要性が増してきている。また、治療に関しては新規薬剤、レーザー線維柱帯形成術、そして線維柱帯切開術（眼内法）を代表とする低侵襲緑内障手術（MIGS）が注目されている。

キーワード

緑内障, 光干渉断層計 (OCT),
低侵襲緑内障手術 (MIGS)



すずき やすゆき
鈴木 康之

東海大学医学部
医学科専門診療学系 眼科 主任教授

語句解説

特集
対談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

World
News
ホット・

最新
トピックス

徒然なる
ままだに。